



合同会社 BTB 創薬研究センター

報道関係者各位

2025年2月5日

合同会社 BTB 創薬研究センター

株式会社 BTB 創薬研究センターは三角吸収合併により米国 BTB Therapeutics, Inc. を親会社とする組織再編を実施いたしました

株式会社 BTB 創薬研究センター（代表取締役：Takashi Kiyozumi、所在地：京都府京都市）は、2025年1月31日付けで米国 BTB Therapeutics, Inc.（CEO: Takashi Kiyozumi、所在地、米国カリフォルニア州エスコンディード）を BTB グループの最終親会社とする組織再編を完了いたしましたのでその旨お知らせ申し上げます。組織再編は三角吸収合併により実施され、従来の株式会社 BTB 創薬研究センターの株主はそのまま米国 BTB Therapeutics, Inc.の株主となります。また、株式会社 BTB 創薬研究センターは消滅し、その事業は合同会社 BTB 創薬研究センターに引き継がれました。

したがって、2025年1月31日付で、BTB グループの構成は、以下のとおり変更されましたので、ご報告いたします。

1. 米国法人である BTB Therapeutics, Inc.が親会社となり、合同会社 BTB 創薬研究センター（CEO：Takashi Kiyozumi、所在地：京都府京都市）が子会社となりました。
2. （旧）株式会社 BTB 創薬研究センターは、消滅しました。
3. （旧）株式会社 BTB 創薬研究センターの権利義務は、合同会社 BTB 創薬研究センターが包括承継しました。

弊社の非オピオイド鎮痛薬候補品 ENDOPIN は、米国での臨床開発準備段階に入っており、米国本社である BTB Therapeutics Inc.においては開発体制の整備、さらには米国投資家を含めての資金調達・事業開発等をすすめていく計画です。また、引き続き合同



合同会社 BTB 創薬研究センター

会社 BTB 創薬研究センターを日本・アジアでの拠点として、京都大学を中心とした共同研究を通じて大学発のシーズを非臨床から臨床へと開発を進めてまいります。

合同会社 BTB 創薬研究センター について：

弊社は、2020年6月京都大学の萩原正敏教授の創薬プログラムをもとに株式会社 BTB 創薬研究センターとして設立され、First-in-Class の非オピオイド鎮痛薬候補品 ENDOPIN の研究と開発、また、RNA の異常スプライシングを標的とした希少疾患やがん免疫療法を適応とした低分子化合物の開発を行っており、革新的な新薬を生み出すことを目指しています。当社は創業以来、日本医療研究開発機構（AMED）や京都府のグラントに採択され、約 50 億円の公的資金の支援を受けています。2025年1月31日に三角吸収合併による組織再編にて合同会社 BTB 創薬研究センターとして事業を承継しております。

CEO：Takashi Kiyozumi

設立日：2024年10月23日

ウェブサイト：<https://btbtherapeutics.com/>

このリリースに関するお問い合わせは info@btbtherapeutics.com までお願いいたします。